和泊町における公会計の活用について



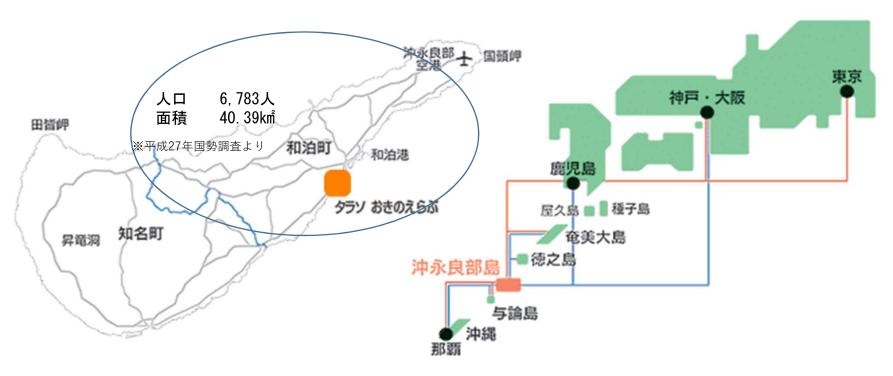
令和3年8月 JFM地方財政セミナー



はじめに~鹿児島県和泊町の紹介~

- ・ 鹿児島県奄美群島に位置し鹿児島市から540km。 那覇市から188Km
- ・ 鹿児島空港から約1時間10分。船では鹿児島市から18時間。那覇市から6時間。
- 人口6,783人, 面積40.39km (いずれもH27国勢調査)
- ・昭和16年5月1日に町制を施行し今年で80周年。古くは琉球国に340年ほど属し、現在でも沖縄県との交流が深く、琉球文化圏の北限。
- ・第二次世界大戦後に日本から分離され、昭和28年12月25日に祖国復帰する8年間 米軍統制下
- ・昭和52年9月9日,後に「沖永良部台風」と名付けられた猛烈な台風が襲来し, 被害総額は196億円
- ・昭和16年(1941年)に町制を施行し、令和3年(2021年)で町制施行80周年

和泊町の位置を地図で見ると



和泊町の特産品





【目次】

- 和泊町の地方公会計への取り組み
- バランスシート探検隊の実施
- 総務省セグメント分析に関するワーキンググループ
- ・様々な活用方法

和泊町の地方公会計への取り組み

①体制づくり

- ・平成26年度決算において「経常収支比率」「実質公債費比率」 「将来負担比率」の3つが県下ワースト1となるなか,新庁舎建 設や総合体育館整備などの大型事業が計画・要望された。
- 新庁舎については、現庁舎の老朽化が著しく耐震基準以前の建物であるため早急な建設が必要である。しかし、財政状況が県内で最も悪いことから財政健全化に向けた取り組みとして、特に他の自治体に比べて保有面積の大きい公共施設の見直しが必要。
- 公共施設の見直しを進めるにあたり、担当部署において管理状況 や利用状況の把握に差があることや台帳整備がされていない部署 があったこと、国から公共施設等総合管理計画の策定が要請され たことから、全庁的な推進体制が必要。



和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチームの発足

和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチーム規程を次のように定める。

平成 26 年 10 月 1 日

和泊町長 伊地知 実利

和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチーム規程 (名称及び設置目的)

第1条 地方公会計の整備促進のための統一的な基準による財務諸表作成に必要となる固定資産台帳及び公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画(以下「総合管理計画」という。)を策定し、固定資産台帳の更新及び総合管理計画の適正かつ円滑な推進等の総合的な公共施設等マネジメントを実施するため和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチーム(以下「プロジェクトチーム」という。)を設置する。

(所管事務)

- 第2条 プロジェクトチームは前条に規定する設置目的に沿って,次の各号に掲げる業務を行う。
- (1) 固定資産台帳整備の推進(調査・調整)
- (2) 公共施設等総合管理計画策定の推進(方針の検討)
- (3) 公共施設等の総合的マネジメント体制構築の推進(全庁的な体制づくり)
- (4) その他公共施設等マネジメントに関する事項

(組織)

- 第3条 プロジェクトチームは、職員の中から町長が任命する者(以下「メンバー」という)をもって組織する。
- 2 プロジェクトチームにはリーダー、サブリーダー及び顧問を各1名置く。
- 3 リーダー及びサブリーダーはメンバーの互選により決定する。
- 4 顧問は総務課財政担当課長補佐をもって充てる。

(会議)

- 第4条 プロジェクトチームの会議は、リーダーが招集する。
- 2 リーダーは必要に応じてメンバー以外の関係者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第5条 プロジェクトチームの庶務は、総務課において処理する。

附則

この訓令は、平成26年10月1日から施行する。



和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチームメンバー

1/11-11 公八ル版寺・イ・ノン・ノール 建ノーノ・エノーノー コン・ノ・・			
所 属 等	備 考		
総務課財政担当	公会計担当		
総務課財産管理担当	固定資産台帳整備		
経済課・耕地課から1名	農政関係		
町民支援課・保健福祉課から1名	福祉民生関係		
企画課・情報政策室から1名	企画・観光関係		
土木課から1名	道路・公営住宅関係		
教育委員会から1名	学校施設関係		
生活環境課から1名	水道・下水道関係		
総務課財政補佐	顧問		



和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチームについて

- ・公共施設等総合管理計画や固定資産台帳の整備を推進するには、全庁的な取り組み体制の構築が必要
- ・公有財産について情報の一元管理を行い、所管課において年度ごとに更新を行う体制づくり
- ・公共施設の在り方や今後の利用促進策等について総合的な見直し
- ・総合振興計画や集中改革プランと連携した庁舎横断的な取り組み
- ・公共施設の今後の整備方針について総合的な視点から意思決定を行う体制づくり



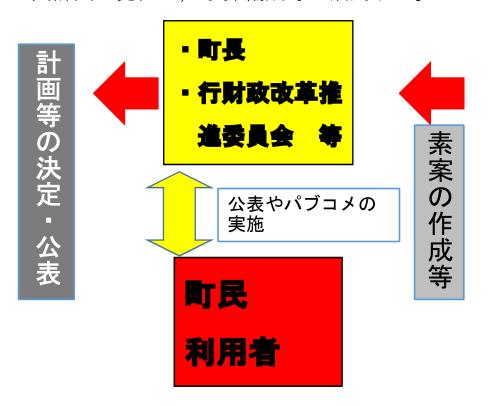
公共施設等総合管理計画や固定資産台帳整備を円滑に推進し、併せて、既存の公共施設の在り方を見直し、将来にわたり必要性の高い機能を有する公共施設の配置を進める**全庁的な体制整備**



和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチームの設置

和泊町公共施設等マネジメント推進プロジェクトチームの役割

☆プロジェクトチームを設置し、公共施設等総合管理計画の策定や公共施設の統廃合や 更新の検討を行う。検討結果等を町長や行財政改革推進委員会に報告するほか、総合振 興計画の見直し、予算編成等に活用する。



◎プロジェクトチーム

(役割)

公共施設等総合管理計画の素案の作成や、施設別 カルテ等の作成、固定資産台帳整備の推進(作成) 現地調査等を行い、検討結果を行革本部会等に報告 する。また、公共施設の利活用についても議論を行 うものとする。

☆委員会において協議検討する主な事項

- ・公共施設等総合管理計画の策定
- ・固定資産台帳整備の推進
- ・施設別カルテの作成等

【統一的な基準による地方公会計の整備促進に関する総務大臣通知】

総財務第14号 平成27年1月23日

各都道府県知事入殿各指定都市市長入殿

総務大臣(公印省略)

統一的な基準による地方公会計の整備促進について

地方公会計については、これまで、各地方公共団体において財務 書類の作成・公表等に取り組まれてきたところですが、人口減少・ 少子高齢化が進展している中、財政のマネジメント強化のため、地 方公会計を予算編成等に積極的に活用し、地方公共団体の限られた 財源を「賢く使う」取組を行うことは極めて重要であると考えてお ります。

今後の地方公会計の整備促進については、「今後の地方公会計の整備促進について」(平成 26 年 5 月 23 日付総務大臣通知総財務第 102 号)のとおり、平成 26 年 4 月 30 日に固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類の作成に関する統一的な基準を示したところです。その後、「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」を設置して議論を進めてきましたが、平成 27 年 1 月 23 日に「統一的な基準による地方公会計マニュアル」を取りまとめております。

当該マニュアルにおいては、統一的な基準による財務書類の作成 手順や資産の評価方法、固定資産台帳の整備手順、連結財務書類の 作成手順、事業別・施設別のセグメント分析をはじめとする財務書 類の活用方法等を示しております。

つきましては、当該マニュアルも参考にして、統一的な基準による財務書類等を原則として平成 27 年度から平成 29 年度までの3年間で全ての地方公共団体において作成し、予算編成等に積極的に活用されるよう特段のご配慮をお願いします。

特に、公共施設等の老朽化対策にも活用可能である固定資産台帳が未整備である地方公共団体においては、早期に同台帳を整備することが望まれます。

なお、統一的な基準による財務書類等を作成するためには、ノウ ハウを修得した職員の育成やICTを活用したシステムの整備が不 可欠であり、平成27年度には関係機関における研修の表案・論化を

【※抜粋】

地方公会計については、これまで、各地方公共団体に おいて財務 書類の作成・公表等に取り組まれてきたとこ ろですが、人口減少・ 少子高齢化が進展している中、財 政のマネジメント強化のため、地 方公会計を予算編成等 に積極的に活用し、地方公共団体の限られた 財源を「賢 く使う」取組を行うことは極めて重要であると考えてお ります。



固定資産台帳の整備

統一的な基準の財務書類の公表

公共施設等マネジメント推進PTの 追い風に

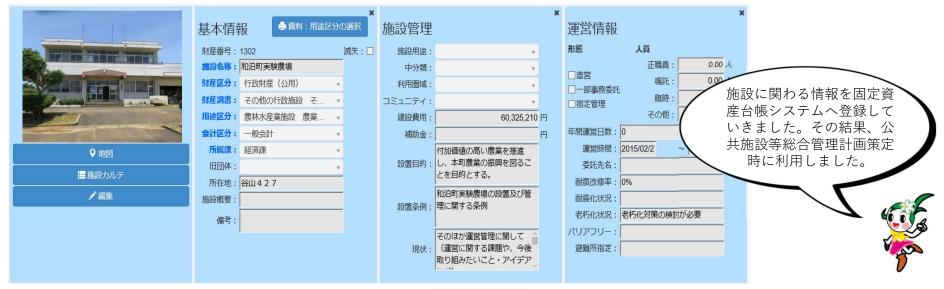
これまでの公有財産台帳とは別の固定資産台帳整備や公 共施設等総合管理計画の策定や地方公会計の整備促進など、 新たな業務が増えることに対する抵抗感が職員の中にあった が、総務大臣通知による一定の強制力が生まれた。

和泊町の地方公会計への取り組み

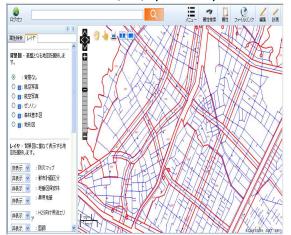
- ②公共施設等推進プロジェクトチームの役割
 - 統一的な基準による地方公会計の整備促進の根幹となる 「固定資産台帳の整備」に向けた保有資産の洗い出し
- ・固定資産台帳システムへの資産情報の入力によるデータ ベース化
- ・所管する公共施設の現状を基に今後の活用方針等の検討
- 公共施設等総合管理計画素案の検討
- 公共施設等個別計画の検討

①固定資産台帳システム(備品台帳管理対応)

施設の基本・管理・運営情報も合わせて管理



地図(GIS)



施設コスト情報



備品台帳の入力



公共施設のデータベース作成(見える化)

和泊町が保有する公共施設(建物)の位置(地図情報)や外観とデータベース化することで、職員なら誰でも施設情報に触れることができる。



町民文化系施設 ・中央公民館、字公民館等



社会教育系施設 · 図書館、歴史資料館等



スポーツレクリエーション系施設

• 町体育館、武道場等



産業系施設

• 実験農場、堆肥施設等



学校教育系施設

• 小中学校等



子育て支援系施設

・幼稚園、こども園等



保健·福祉施設

・保健センター、老人憩いの家等



行政系施設

・役場、防災センター、消防分団車庫等



公営住宅

・団地、住宅、空き家活用住宅



公園

• 公園、広場等



その他

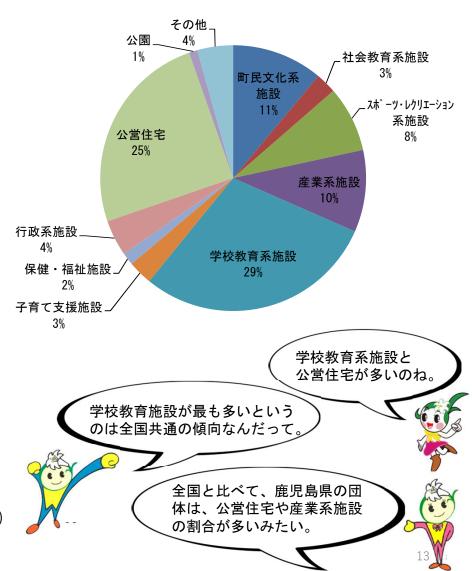
• 南洲神社、定住促進住宅、教員住宅等

和泊町の公共施設(建物)の保有状況

和泊町の公共施設(建物)保有状況をデータ化することで、類似団体や近隣団体と比較することが可能。

施設用途	施設数	面積(m)
町民文化系施設	23	8,379.12
社会教育系施設	4	1,823.70
スポ゚ーツ・レクリエーション系施設	7	6,055.28
産業系施設	12	7,552.00
学校教育系施設	7	22,145.00
子育て支援施設	5	2,243.00
保健•福祉施設	5	1,111.08
行政系施設	9	3,313.02
公営住宅	35	18,815.08
公園	7	777.43
その他	27	3,289.80
総計	141	75,504.51

公共施設面積を和泊町民(H27.3.31時点:6,898人) 一人当たりにしてみると 10.95㎡/人



公共施設(建物)保有量の他団体との比較

和泊町の公共施設は、多い?少ない? 公共施設面積が町民一人当たり10.95㎡/人とういのは適切なのでしょうか?

【全国での比較】

	人口一人当 面積(㎡/人)	
全国平均	3.22	
政令指定都市	3.44	
25万人以上	1.92	
10~25万人未満	2.89	
5~10万人未満	3.56	
3~5万人未満	4.83	
1~3万人未満	5.24	
1万人未満	10.61	

平成24年3月総務省自治財政局財務調査課公共施設及びインフラ資産の将来の 更新費用の比較分析に関する調査結果より

全国平均に比べるとかなり 多いけど、状況の類似する 団体の中では平均的だね。

みんなと同じくらいなんだ。 \ じゃあ安心だよね。

あら。みんなと同じくらいだからって安心とは 限らないわよ~。

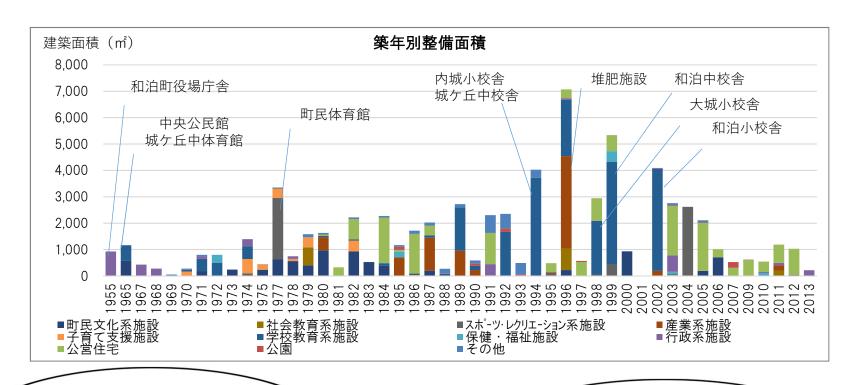
【県内離島市町村との比較】

	2072		
団体名	住民基本台帳 登載人口(人) (H25.3.31現在)	ハコモノ面積 (㎡) (H25.3.31現在)	人口一人当 (㎡/人)
十島村	604	36,722	60.80
三島村	326	17,731	54.39
大和村	1,643	41,339	25.16
宇検村	1,896	43,601	23.00
喜界町	7,802	107,456	13.77
屋久島町	13,513	161,207	11.93
龍郷町	6,066	72,108	11.89
南種子町	6,084	71,899	11.82
知名町	6,541	72,291	11.05
徳之島町	11,682	124,085	10.62
和泊町	7,096	73,428	10.35
天城町	6,540	62,471	9.55
長島町	11,373	107,760	9.48
伊仙町	7,070	66,119	9.35
中種子町	8,620	75,813	8.80
奄美市	45,444	388,124	8.54
与論町	5,436	44,676	8.22
瀬戸内町	9,692	79,294	8.18
西之表市	16,567	128,706	7.77

(※注意)施設面積は、総務省の公共施設状況調経年比較表(平成25年3月31日)のため、和泊町の延床面積(平成26年3月31日)とは異なります。

公共施設(建物)の整備状況

いつ、どのような施設が建設されたのでしょうか。※H26.3.31時点



建物の寿命は、鉄筋コンクリート製のもので約50年。大事に使えば50年以上使うこともできるわ。でも建築後30年あたりから、いろんなところに支障が出始めて、修繕や更新にお金がかかるようになってくるわね。

30年あたりからガタ がくるというのは 人間と一緒だな

(笑)

1985年生まれが30歳。 一番古いのは役場庁舎で、1955年生まれの60 等人の提供会の選集された計点なくだとれ

歳!役場は今度建替えを検討中なんだよね。 次に検討しないといけないのが、中央公民館、 城ケ丘中学校体育館ってことね。

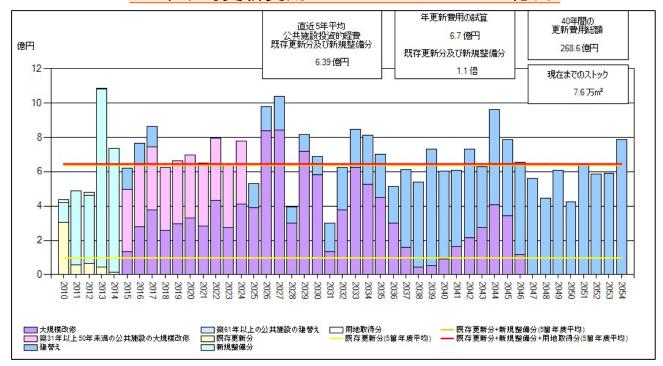




公共施設(建物)の更新費用

今後の公共施設(建物)の大規模改修、建替えにはどのくらいの費用がかかるのでしょうか。※H27.3.31時点

今後40年間の更新費用総額269億円1年平均更新費用6.7億円



和泊町の収入は71億円。 7億円も出せるのかな。 「庁舎みたいに、絶対必要なものを建てるために、利用の少ない施設を廃止したり、ほかの事業を削減したり、コスト削減に取り組んだり ↓してどうにか資金を捻出しないといけない

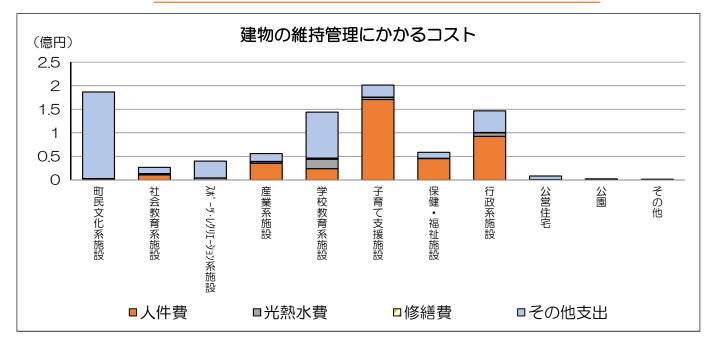
統廃合、複合化、長寿命化、売却、 民営化、指定管理者、コスト削減、利用 料見直しといった取り組みを他団体も 始めているそうよ。

公共施設(建物)の維持管理費用

公共施設(建物)の維持管理にはどのくらいの費用がかかっているのでしょうか。※H26.3.31時点

毎年の維持管理コスト総額

8億7千万円



子育て支援、町民文化施設 のコストが高いわ。公営住 宅は数は多いけどコストは あまりかかっていないの ね。 子育て支援、保健福祉、産業系、行政系施設は人件費の占める割合が大きいね。 町民文化系、スポーツレクリエーション系施設は人件費がほとんどかかっていないね。学校教育系は光熱水費の値が大きいね。 直営で運営する施設は、人件費が占める割合が多いわね。町民文化系、スポーツレクリエーション系施設は、民間の団体等に施設管理をお願いしているから人件費としては支出されていないの。



基本方針 策定

施設の分類(※総務省が提供するツールの分類を使用)

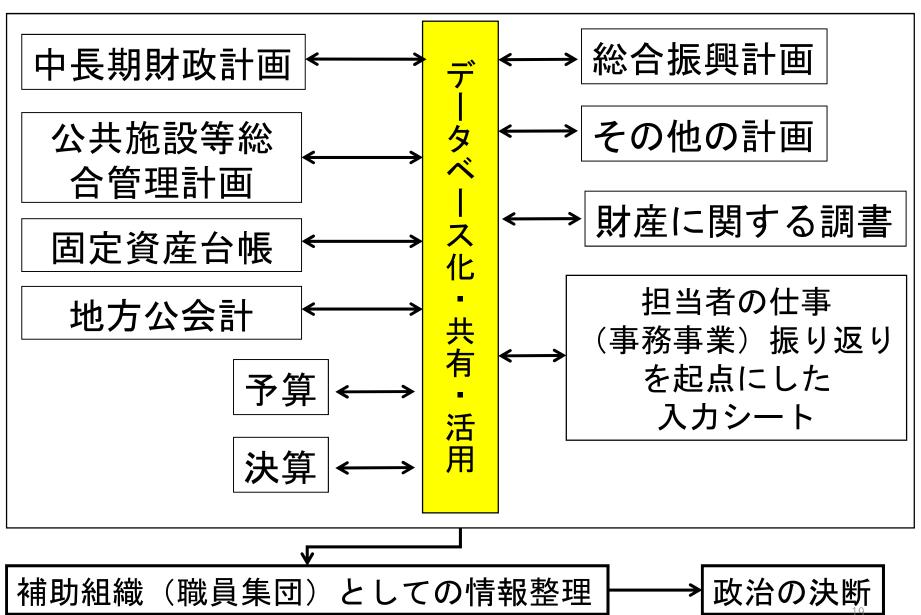
大分類	施設数	延床面積(m)	割合(%)
市民文化系施設	23	8,379	11
社会教育系施設	4	1,824	2
スポーツ・レクリエーション系施設	7	6,055	8
産業系施設	12	7,552	10
学校教育系施設	7	22,145	30
子育て支援施設	5	2,243	3
保健・福祉施設	5	1,111	2
行政系施設	9	3,313	4
公営住宅	35	18,815	25
公園	7	777	1
その他	27	3,290	4
合計	141	75,504	100



全体目標 設定

公共施設等における現状と課題、施設の改修・更新にかかる将来コスト試算の結果を踏まえ、全体目標を設定します。建物系施設、インフラ施設、企業会計施設に大別し、新規整備を抑制すると共に、建て替えなどを行う際には、施設の複合化等により施設総量を縮減し、将来の更新費用を削減します。

取り組み体系図



②財務書類作成システム

執行データ・固定資産台帳データ・決算統計データの取り込みが 可能なため、各データを直接入力する必要がない。

執行データ・固定資産 決質統計	
執行データ・固定資産 決算統計	
執行データ取込様式出力:	
取込用Excel出力	
取込処理: オプション設定:	
□ 既存データを削除せずに追加する 執行データ取込開始	
オプション設定: □ 照合結果も取得する □ 定資産台帳データ 連携 □ ボークンステムで照合を行っている場合 チェックしないで下さい。	は

②財務書類作成システム

統一なモデルの作成で気になっていた仕訳の定義は、エクセル出力で確認が可能なため仕訳がやりやすい。





③仕事振り返りシート(事務事業評価システム)

【ログイン画面】



LGWAN-ASPを利用したクラウド型のサービ スなので、地図・財務(財産)・仕事・人の ふり返りシート 情報、全てを合わせて管理しています。 入力シート 記入方法 記述のポイント! 基本計画 過年度情報 1 予算科目・財源内訳 選択 会計 1 一般会計 款 6 商工費 項 1 商工費 財源内訳(単位:千円) 予算現額 国支出金 県支出金 地方佰 その他 一般財源 10 緊急雇用創出事業費 2 事業の位置付け 事務事業名 緊急雇用創出事業 腰・局名 企画課 担当係名 選択 8 事業期間 裁量性 有∨ 99 (うち受益者負担金 基本理念 自助,共助,公助で共生・協働のまちづくり まちの将来像 町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち 政策 第1章 農業・水産業・商工業が元気な活力あるまちづくり での位置付け 基本計画 選択 1 第1節 産業振興計画 計画 政策体系に位置付けができない事業 3 事業の内容・成果等 離職を余儀なくされた失業者に対して短期の雇用・就業機会を創出・提供する。 事業の目的

仕事ふり返りシートは、決算書の主要事業 一覧の説明資料としても使用しています。 平成27年度 仕事ぶり返りシート 22 共生・協働の農村づくり推 進事業費 事業の位置付け
 事務事業名
 其生・協働の農村づくり推進事業
 課・局名

 事業期間
 雑統
 担当係名
 農政

 事業財間
 338千円
 (うち受益者負担金
 農政係 裁量性 無 | 大きな | 大きな | 大きな | 大きな | 大きな | 大きな | 大きの | 大きの | 大きの | 子を作する | 大きの | 子を作する | 大きの | 子を作する | 大きの | 子を作する | 大きな | 事業の内容・成果等 事業の目的 地域営農についての周知を図り、地域が抱える課題解決のため、営農支援組織の設立及び育成を図る。 事業の成果 集落における営農組織結成への期待値及び地域における農作業受委託組織活動。 地域リーダーの先進地リーダー研修への参加。集落営農組織への相談・支援の実施。 現状の課題 各集落が抱える営農上の課題解決と地域におけるリーダー育成が必要である。 活動指標 成果拍標 4 事業の評価 評価視点 | 拡大(3) | 維持(2) |見直し(1) | 不可(0) | 小計 | 合計 0 町民ニーズに合っている 町の関与は妥当か。 方向性の理由・改善案 営農組織や農作業受委託組織への支援を引き続き行う。 6 メモ欄(自由に活用してください) 22

バランスシート探検隊の実施

☆目的と成果

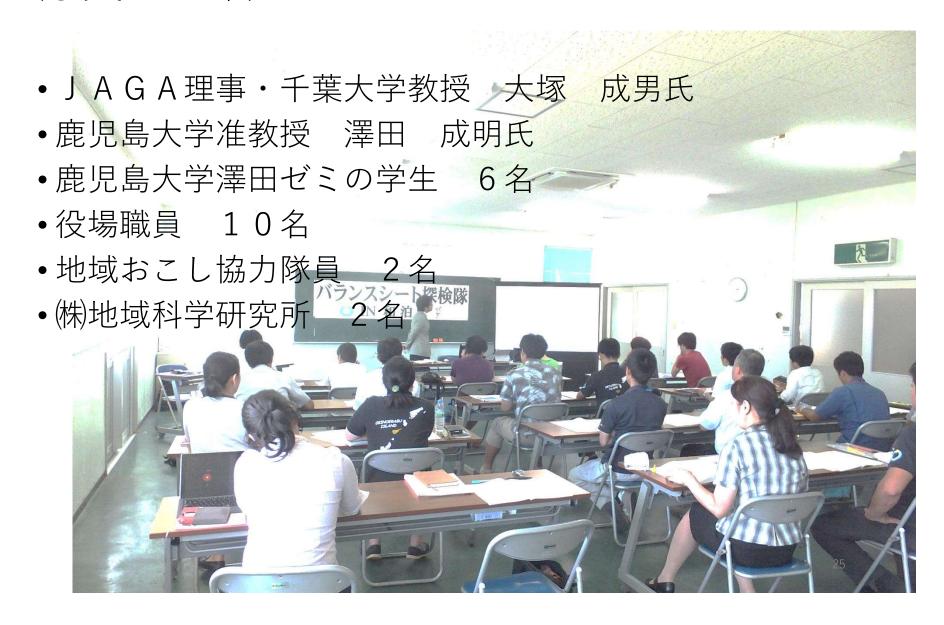
- ・バランスシート探検隊は、千葉県習志野市が全国で最初に取り組み、和泊町は習志野市、愛媛県砥部町に次いで全国で3番目に実施した。バランスシート探検隊は、バランスシートの仕組みを学び、町内の公共施設を見学し、税金の使われ方や今後の公共施設の在り方について考える企画。
- ・バランスシート探検隊は平成27年度から令和元年度まで計5回実施し,延べ150人以上が参加した。職員以外にも多くの町民や鹿児島大学法文学部経済コースの大学生も多数参加し,公共施設の在り方について白熱した議論が交わされた。
- バランスシート探検隊の成果として、探検隊で出された意見が公共施設の見直しに採用された。

バランスシート探検隊 IN 和泊町

まちの財政や公共施設の将来について 一緒に考えてみませんか?



隊員22名



1日目座学



2日目 施設見学



報告会 2 日 目









①硬度低減化施設

町外にも 積極的に 販売して 収入増

②旧給食センター

隣に幼稚園 があるので 保護者向け のカフェに

建物は 取り壊し 駐車場に

③町民体育館

塩害対策が 必要。耐用 年数も考慮 すべき。

学校施設 を利用し て新規建 設しない

使用料が 安すぎ る。 値上げす べき。

合宿誘致 等、島外 交流人口 増に必要

化粧品な ど新たな 利活用方 法の検討

副産物の石

灰をもっと

広くPRす

べき

島外から の視察見 学者を増 やす

老人給食 を提供す る企業な どで活用

売却

探検隊の意義

財政状況が危機的状況であることを知る。

何気なく使っていた施 設が、実はものすごい お金がかかっているこ とを知る。

今後、すべての施設は 維持できないことを知 る。

長く住んでいるのに、 意外と知らない公共施 設がたくさんあること を知る。

施設の老朽化を肌で感じる。

公共施設の課題解決に むけて、行政と住民が 一丸となって知恵を出 し合う。

施設は役に立っている? 身の丈にあっている?

メディア

8月22日(工)(奄美

える「バランスシー とする公共施設等総合管 型計画の参考とする。 初日はJAGA理事 で千葉大学教授の大塚 成男氏が講領し、町の う産やバランスシー ト、財政状況などにつ の16年度までに策定 組み。活動の成果は2 自治体で3番目の取り

加東新問題について考定が問題について考定が問題について考定が表現を必要がある。 和 同探検際は地方公会 は a p a n A s s o c i a t i o n o f i o n o f i o n ng(略称JAGA) l Accounti



ー大会議室 一大会議室 ー大会議室

財政、公共施設の課題は

和泊町でバランスシート探検隊

新たな特壁品開発ができないか」、旧給食センターは「近くに幼稚」の時に利用できるカフ迎時に利用できるカファにしては」「耐用年数が過ぎており、取り壊して駐車場に」など について「化粧品など 道施設の創産物(石灰)

大塚氏は「施設の活」っておいたらごみにない。

った。 とができたのは成りとができたのは成り、将来の負担が大 和泊町でバランスシート探検隊

JAGAと連携、鹿大生も参加

町の水道施設を見学するバランスシート探検隊一和泊 町、ERABUサンサンテレビ提供ー

や今後の活用法などを

意見発表では、浄水 原200の活用法を考えて にのの活用法を考えて い施設なので、もっといんべき」「素晴らし

8 2目目は、後間浄水 り 場の硬度低減化施設、 旧給食センター、町長 化育館の3施設を見学 した後、グループに分 かれて、気が付いた点 かれて、気が付いた点

(そ施設を見学し、今後の管理や活用方法について意見を交わし、登場職員と順見婦大学の学生ら22人が参加。町内の浄水場や「主領「人名(人、和泊町)が19、20日の2ノスシート探検隊(「主領「人名(名)、和治町)が19、20日の2 と旧給食センターない。 では一般食センターない。 では、同町であった。

日 今後の施設建設に活か してほしい」などの意

るうちに取り属す決断に見てわかることがあ、理解を深めてほしい」をした方が良い。町る。多くの町民が町の「と語った。 民体育館について「耐用年数に達していない」をしたが、運動が名名化が、場面が、1000円に対する。多くの町民が町の「と語った。

付録 ■過去に探検してきた公共施設は・・・その後

第1回 (H27)



水道施設は、現在も稼働中。

石灰分の多い水から、石灰を除去し、飲料水に適した硬度にしています。

取り除いた石灰は、農業肥料 や、塗料として有効活用されて います。



現在、農産物加工センターとして 利用されています。

一般の方でも利用ができ、機器の 使い方を指導してもらうことがで きます。

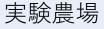
農産物加工による特産品の開発 など



老朽化に伴い、取り壊されまし た。 第2回(H28)



付加価値の高い農業を推進 し、本町農業の振興を図ることを目的とし、新規作物の導 入やバイオ技術による品種開 発、土壌診断等を行っていま す。





保健センター

健康づくりをサポートする拠点施設として、各種健診や巡回相談、子育でサロン、調理 実習等を実施しており、毎日利用されています。

付録 ■過去に探検してきた公共施設は・・ 用されている!!

【探検報告】

●前回の探検隊で出た意見が採

第3回(H29)

PPP(委託範囲拡大)



タラソおきのえらぶ

健康増進施設として、毎日 多くの島民に利用されてい ます。

トレーニングルームの管理 運営を以前は直営で行って いましたが、プールと同一 の指定管理者による運営に 変わりました。

平成11年度開館。入館者は (せご) どん | の影響で、 2017年度入館者は過去最多 の4.431人。前年度と比べて 倍増しています。



減少傾向にありましたが、 NHKの大河ドラマ「西郷

西郷南洲記念館





施設の情報は、Webサイト↓

和泊町~公共施設動画navi~

でも紹介されています! ご覧ください

和泊町 公共施設動画



第4回(H30) (機能移転)→(解体)



中央公民館



図書館



サンサンテレビ

旧庁舎議会棟に機能移転し解 体。(移転先R元年改修)

跡地は、図書館の駐車場とし て利用されます。

図書館の駐車場が狭くて不便 という声の課題解決にもつな がりました。

今後も維持していくために 必要な改修工について検討 を始めます。

テレビ事業の民営化につい て現在検討中です。

セグメント分析に関するワーキンググループ にモデル団体として参加

☆目的と成果

- 固定資産台帳整備や統一的な基準による財務諸表の作成・公表, 公共施設等総合管理計画の策定などが終了したが、今後は地方公 会計の整備によって得られた情報を資産管理や予算編成、受益者 負担の適正化などに活用することが必要である。
- セグメント分析は、一部の先進団体において既に実施されていたが、分析の手法等については整理されておらず、本町においても将来的に事業別・施設別のセグメント分析を実施するため、総務省が主催するセグメント分析に関するワーキンググループに参加した。
- ・WGに参加したことで、セグメント分析の目的や単位、費用の配 賦に関する考え方の整理、非財務情報の活用について町としての 基本的な考え方が整理出来た。

・固定資産台帳の整備により明らかになった本町の公共施設の状況⇒公共施設(建物)の保有量と他団体比較

【全国での比較】

	人口一人当 面積(㎡ / 人)
全国平均	3.22
政令指定都市	3.44
25 万人以上	1.92
10~25万人未満	2.89
5~10万人未満	3.56
3~5万人未満	4.83
1~3万人未満	5.24
1万人未満	10.61

◎本町の特徴

- 県内離島団体の中では平均的な床面積
- ・全国平均と比較するとかなり多い
- ・地理的な特殊性もあるが、人口減少等を考えるとこのままで良いのか?

【県内離島市町村との比較】

団体名	住民基本台帳 登載人口(人) (H25.3.31現在)	ハコモノ面積(m²) (H25.3.31 現在)	人口一人当 (㎡ / 人)
十島村	604	36,722	60.80
三島村	326	17,731	54.39
大和村	1,643	41,339	25.16
宇検村	1,896	43,601	23.00
喜界町	7,802	107,456	13.77
屋久島町	13,513	161,207	11.93
龍郷町	6,066	72,108	11.89
南種子町	6,084	71,899	11.82
知名町	6,541	72,291	11.05
徳之島町	11,682	124,085	10.62
和泊町	7,096	73,428	10.35
天城町	6,540	62,471	9.55
長島町	11,373	107,760	9.48
伊仙町	7,070	66,119	9.35
中種子町	8,620	75,813	8.80
奄美市	45,444	388,124	8.54
与論町	5,436	44,676	8.22
瀬戸内町	9,692	79,294	8.18
西之表市	16,567	128,706	7.77

※データは平成25年度時点のものです。

- ・和泊町のセグメント分析の目的
- ◎和泊町公共施設等総合管理計画における目標
 - ⇒①今後40年間で公共施設総床面積の30%削減
 - ②公共施設の利活用促進
- ◎目標①②を達成するための方策は?
 - ⇒①利用者や利用頻度の少ない施設の廃止や統合
 - ②所期の目的を達成した施設や事業の廃止
 - ③他の団体に無い本町独自施設の民間譲渡等の検討
- ◎方策①~③を実施するためにどのような方法を用いるか?
 - ⇒①他の団体の同施設や類似施設等との比較(管理運営は適切か)
 - ②歳入・歳出以外の非財務情報を活用した比較(役立ちはどうか)



➡ 施設別セグメント分析が必要

和泊町におけるセグメント分析の課題と対策

課題①分析に必要なデータ収集や更新、財務書類等の作成に向けた体制づくりはどうなるか。

⇒本町では公共施設等マネジメントプロジェクトチーム(以下PT)が組織され、PTを中心として公共施設白書や公共施設等総合管理計画を作成してきた。また、庁内各課からPTメンバーが選任されており、固定資産台帳や施設カルテの更新もPTメンバーが行っていることから、セグメント分析についてもPTを中心に作業を行う。

課題②セグメント分析が職員の業務負担の増加に繋がらないか。

⇒分析が職員の負担増とならないよう、配賦基準や方法等については基本的に簡素なものとする。ただし、セグメント分析の目的によっては精緻な基準を用いることも検討する。セグメント分析の考え方や活用(何のため)が職員や町民に広く浸透することが重要ではないか。

課題③分析結果をどのように議会や町民に情報提供していくか。

⇒分析した情報(結果)を議会や町民に提供することで行政コストの見える化が図られることから、決算付属書類や財政公表資料として活用していく。公表するセグメント(施設・事業)については、全施設・事業を対象とするか、一部とするかは今後検討していく。現在、事務事業評価として「仕事振り返りシート」を作成し決算付属資料として活用しているが、このシートの内容の充実のためセグメント分析情報を掲載する。

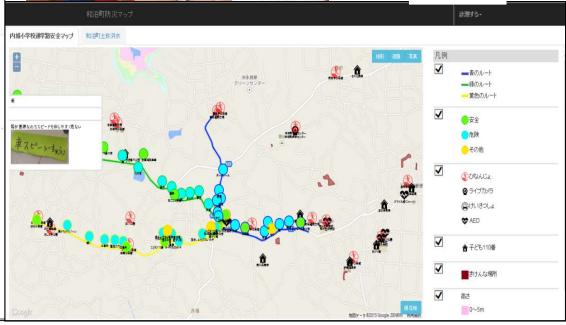
内城小学校通学路安全アップ公開

~ 固定資産台帳システムを活用 ~

平成27年3月10日







固定資産台帳の整備時に使用した 地図(GIS)を利用したので作図費用は0円

公開型のハザードマップとしても利用可能

2014年7月12日に**『歩こう 創ろう うちじろマップ』という企画で**開催し、内城小学校区の児童・保護者が、自分たちで歩いて、見て、まとめた**通学路安全マップ**をインターネット上で公開しました。



黄色チーム



青色チーム



和泊町の公共施設をカテゴリごとに分類し 照会するサイトの開設

公共施設のPR動画サイト開設 http://wadomari.tumblr.com/



最後に~地方公会計の活用について~ ※これは個人の感想ですので参考程度にお聞きください。

- 地方公会計は、固定資産台帳を整備し財務諸表を作成することが真の目的ではありません。どのように活用するか、何に役立てるかが重要です。団体の実情によって活用方法は違うと思いますが、必ず役立つ情報が満載です。
- EBPMという言葉が注目されていますが、地方公会計の活用もEBPMの一つではないでしょうか。地方公会計により得られたデータとICTやDXを組み合わせると、効率的な自治体経営に繋がるのでは。
- ・地方公会計の活用に向けた取り組みを始めてから7年経過しますが、徐々にその成果が表れています。固定資産台帳や施設カルテの更新など定着してきました。少しづつですが着実に前に進んでいる実感があります。

最後に~地方公会計の活用について~ ※これは個人の感想ですので参考程度にお聞きください。

地方公会計の活用は、自治体の規模や職員数、財政状況や合併の有無など、条件によってその方法は様々だと思います。まずは首長や職員にその意義と目的を理解してもらい、その活用について考えていきましょう。正解は無いと思います。皆さん自身が地方公会計の活用について答えを創り出せます。

まずは「一歩踏み出す」ことが大事です。

ご清聴ありがとうございました。

鹿児島県 和泊町企画課

鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地

T E L: 0997-84-3512 F A X: 0997-92-2116

MAIL: tnagano@town.wadomari.lg.jp

